



市議会だより

きたあきた



No. 51

平成29年2月1日発行

12月定例会

- 今定例会の審議 2
- 議案等表決状況／賛成・反対討論 3
- 常任委員会の審査報告 4～5
- 一般質問 6～12
- 所管事務調査報告 13～14
臨時会／全員協議会
- 市議会議員研修／林活議連研修／請願・陳情 ... 15
議会映像配信特別委員会設置
- 市民の声／人事案件／あとがき 16

**スキーシーズン到来
晴天の下 全力滑走!!**

～ 第29回森吉山スキー大会 ～

マタギの里の指定管理者4施設を多数可決

小中学校統合再編プラン(案)再考に関する陳情は一部採択

平成28年北秋田市議会12月定例会は、12月1日(木)から12月13日(火)までの13日間の会期で行われました。今定例会では、条例案11件、予算案16件、指定管理者の指定など単行議案6件、人事案件1件、決議案1件、陳情6件など49件が提案され43件の議案と4件の陳情が原案のとおり承認、可決、採択、同意されました。

なお、追加提案された、議員発議の議会映像配信特別委員会設置に関する決議案を可決し、「議会改革推進に向け、議会映像配信について研究するため」に特別委員会を設置しました。また、若い人も高齢者も安心できる年金制度改善と年金積立金の株式運用の見直しを求める国への意見書提出の陳情については継続審査となりました。



43議案が原案のとおり承認、可決、採択、同意された12月定例会

今定例会の主な議事

- 一般会計補正予算
- 特別会計補正予算
- 農業委員会委員の定数条例
- 指定管理者の指定
- 専決処分の報告
- 人権擁護委員候補者の推薦
- 学校統合再編プラン(案)再考に関する陳情など

主な補正予算

平成28年度一般会計補正予算案は、歳入歳出それぞれ2億2983万9千円を追加し、予算総額を254億6998万7千円とするものです。

歳入の主なものについて、▽秋田北鷹高校女子全国高校駅伝競走大会出場補助金100万円、▽保育対策総合支援事業補助金600万円、▽北秋

田市おもてなし宿泊支援事業補助金1000万円、▽ウインタースポーツパークアップ事業補助金3万6千円などが計上され原案のとおり可決されました。また、今回は人事委員会勧告による職員及び特別職等の手当増、土地情報管理システム委託料及び備品購入費、後期高齢者医療療養給付費負担金などが予算措置されました。

指定管理者の指定

指定管理者の指定については、▽打当温泉マタギの湯、▽ふるさとセンター(マタギ資料館)、▽農業者健康管理施設、▽農林水産物直売・食材供給施設(道の駅あに)の4施設を非公募としてマタギの里観光開発(株)を指定管理者として提案され賛成多数により可決されました。▽畜産経営環境整備施設については、非公募としてアグリほくおう(有)が指定されま

した。これまで指定管理者となっていた第三セクター北秋田市有機センター(有)は解散することになりました。

陳情は6件

陳情6件のうち、4件が採択されました。小中学校統合に関する再編プラン(案)の前田小、阿仁合小、大阿仁小の統合の再考を求める陳情は「保護者、住民と十分な話し合いの継続など」一部採択となりました。また、年金制度改善と年金積立金の株式運用を求める陳情は継続審査となりました。

議会映像配信

特別委員会設置を可決

議員提案の「議会改革推進に向け、議会映像配信について調査研究するため特別委員会を設置する」とした決議案は起立採決の結果、全会一致で可決となりました。

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

所属党派・議員氏名 採決結果 議案名	採決結果	緑風・公明				みらい				共産党 議員団		清和会		新創会		無党派					
		関口 正則	堀部 壽	武田 浩人	小笠原 寿	佐藤 光子	大森 光信	黒澤 芳彦	中嶋 洋子	庄司 憲三郎	松橋 隆	板垣 淳	久留嶋 範子	三浦 倫美	吉田 仁吉郎	山田 博康	長崎 克彦	佐藤 重光	佐藤 文信	松尾 秀一	福岡 由巳
【平成28年12月定例会／平成28年12月13日採決】																					
第122号平成28年度一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	▼	●
第139号 北秋田市打当温泉マタギの湯の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	○	○	▼	●
第140号 北秋田市ふるさとセンター(マタギ資料館)の指定管理の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	○	○	▼	●
第141号 北秋田市農業者健康管理施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	○	○	▼	●
第142号 北秋田市農林水産物直売・食材供給施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	○	○	▼	●
陳情第43号 若い人も高齢者も安心できる年金制度改善と年金積立金の株式運用の見直しを求める国への意見書提出の陳情について	継審	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	-	○	○	▼	●	

※全会一致の可決、採択については除いています。また、陳情第43号は継続審査についての賛否を記載しています。

※議長は、過半数で議決すべき場合には、法第116条第2項で「議員として議決に加わる権利を有しない」とされているため、議長は採決には加わりません。なお、当日は長崎副議長が議長の職務を代行しております。

賛成・反対討論

▼陳情第43号

反対討論 板垣 淳 議員

陳情内容が今国会で審議され、3月定例会前には結論が出ることになり、今定例会で意見書を出すことが大事。法案についてはどの世論調査でも半数以上の国民が反対している。北秋田市民も同じだと思う。よって継続審査ではなく、採択するようお願いしたい。

▼議案第139号

反対討論 福岡 由巳 議員

当局は、本来条例に従い公募すべきものを募集することなくマタギの里(株)を指定管理に指定したのは条例の適用を誤っていると指摘せざるを得ない。1月19日付マタギの里(株)経営改善計画書の報告書が10月28日付で示されているが、進捗状況を見れば「検討中」「見直しが必要」等が多く、努力のあとが伺えない。これ

※発言順に掲載しています

はコンサルに頼り民間のノウハウを持ち得ていない企業であることから指定管理者にふさわしくないことは歴然としている。平成27年度決算によれば累積債務は約1億9300万円となり、今後6000万円の借入返済を考慮するとさらに増加するものと危惧される。市民の血税が、さらにつき込ませざるを得ないようなマタギの里(株)の指定管理者は認めることができない。

賛成討論 松橋 隆 議員

会社経営は1年か2年で結果は出ても成果が出るものではない。北秋田市の観光で重要な役割を果たす施設であり、支援、応援体制を行っていくことが大切である。

▼議案第122号

反対討論 福岡 由巳 議員

現在、マタギの里(株)は、誘客方法やどぶろくの販売方法など経営改善を図っている途中であり、その結果については、早急に判断することは得策ではない。

反対討論 山田 博康 議員

1年間という指定管理期間が経過されていない状況で、なぜ5年という指定管理期間なのか。しっかりと1年間経過し、その経営結果をもとに再度提案するということが可能であったのではないか。経営改善計画書からも経営努力の姿勢が見られない。

産業建設

冬の観光誘客に
宿泊補助金

委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案5件、単行議案6件の計13件。

平成28年度北秋田市一般会計補正予算の所管分については、観光費、観光施策費に関して「北秋田市おもてなし宿泊支援事業補助金で、どのように誘客するのか」との質疑があり、「観光誘客を図るため宿泊事業主が企画する宿泊『おもてなしプラン』を作成し、申請があつた各宿泊施設プランについて課内審査を行い、審査の通つたものについて、一人当たり2000円を補助するもので、1月1日か

ら3月20日までを予定しており、中間で一度、状況を把握し、3月20日までの予約状況を見ながら予算額1000万円を使い切れるよう調整していきたい」との答弁がありました。また、

「各施設には、丁寧な説明をして誘客に結びつけてほしい」などの意見もありました。債務負担行為補正に関して「地方公共団体が第三セクター等の債務について、損失補償を行うべきでない」とあるが、利息返済も考えれば銀行からではなく、市独自で15年間貸付できないか」との質疑があり、

「短期貸付については、総務省から貸すべきではないと指摘を受けており、また長期については、市独自の貸付はできないと考えている」との答弁がありました。

打当温泉指定管理者に
マタギの里観光開発

「北秋田市打当温泉マタギの湯」「北秋田市ふるさとセンターマタギ資料館」

「北秋田市農業者健康管理施設」「北秋田市農林水産物直売、食材供給施設」4件の指定管理者の指定について、「指定管理期間を2〜3年にできないのか」「内部体制について」「今後の経営戦略について」など多くの質疑があり、「現

在、経営改善計画中で、1年では実績が伴う営業活動が出来ず5年間とすることで、成果が見込める営業ができ、全従業員のモチベーションが上がりが再生に向けた取り組みが可能である。また、他施設の接遇やおもてなしを見せたいということとで研修に出かけるなど社長自ら従業員と意識共有できるよう取り組んでいる」との答弁がありました。

なお、付帯意見として「マタギの里観光開発株式会社は、昨年9月議会において、経営改善計画に努めるよう付帯意見を付けて、会社はその改善を図っている途中である。しかしながら、債務負担行為の補正もあり経営収支のさらなる改

善と行政の緻密な指導を求めると文書で付しました。付託された案件については、全て全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。
(委員長 庄司 憲三郎)



経営改善計画中の打当温泉マタギの湯

総務文教

コムコムねまーる広場で
子どもの一時預かり

委員会に付託された案件は、条例案8件、予算案6件、陳情1件の計15件。

平成28年度一般会計補正予算の所管分については、

教育委員会生涯学習課関係で、コムコム「ねまーる広場」での子ども一時預かりのための非常勤職員報酬について、何人登録し最高で

何人の子どもを預かるのか。現在ボランティアで来ている「ねまーるさん」たちとの関係について質疑があり、「雇用については5人を募集し、常時2人を配置、ローテーションを組み日替わりでの雇用を考えている。預かる子どもは、最高で6人とし、少ないと思われる

が、自由来館の方もいるため、一つの目安として6人としている。雇用する非常勤職員とボランティアの活動については、雇用される非常勤職員がメインとなり、その他の行き届かないところは「ねまーるさん」に、子育てのベテランの方々が

談などについても補っていた。ただれば」との答弁でした。また「コムコムを利用してはいる人に限定し、3時間以内は無料ということだが、本来、市街地活性化のために建てた建物であり、市街地で買物をする人も対象とならないのか」との質疑があり、「近くにわん

市民福祉

クリーンリサイクル センター関連

ばあくという買い物などに来た方の子どもを有料で預かる施設がある。そうした方を対象にすると、どうしても無料である「ねまーる広場」に利用者が集中し対応ができなくなる心配があるため、コムコムの利用者として限定した」との答弁がありました。

教育・選管・監査委員非常勤特別職の報酬を引き上げ

北秋田市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定については、「当市の非常勤特別職の報酬が他市と比較し極端に低いことから当然見直しは必要だが合併後10

年以上経過して今回の見直し。なぜ今まで見直しされなかったのか」との質疑があり、「非常勤特別職の報酬、議員報酬を含め合併以来、据え置き状態にあり、先般、議員報酬の改定をさせていた。据え置かれていた非常勤特別職の報酬についても、他市と足並みを揃えた形にすることが必

要だとの判断から今回の提案に至った」との答弁がありました。
付託された議案については、全て全会一致で原案のとおり可決すべきと決しました。
陳情は、一部採択と決しました。
(委員長 佐藤 重光)



コムコム「ねまーる広場」

委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案7件、陳情5件の計13件。
北秋田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定については、「条例を制定・改正・廃止する場合は、期日を定めなければならないとなつてはいるが、附則のなかにも期日が定まつていない。議会への議案提案とする以上、きちんと附則に謳い、提案することが当局の姿勢ではないか」との質疑があり、「遵守事項などの記載

もなく、今後の委託契約の際に、細部について定めていきたい」との答弁がありました。また、「今回の条例に合わせて提案するべきではないか」などの質疑があり、「総務課法規担当と協議の上での提案ですが、今後の契約の際に、現行の内容から変更となる可能性があり、選定委員会などを経て、検討及び精査した上で、決定したいと考えているのでズレが生じている。また、長期包括ということになるが、柔軟な運用を図

運転管理業務委託 債務負担行為補正

北秋田市一般会計補正予算の所管分については、北秋田市クリーンリサイクルセンター長期包括的運転管理業務委託の債務負担行為補正に関して、「上限額の63億円は、単純に20年での平均値と想定しても良いのか。また、入札によつては減額になることを期待するが、予定される単年度の金額と現行の決算ベースでの運営費を比較するとどうか」などの質疑があり、「平均

では、3億円程度の金額になります。20年の中で、長期包括、直営に関わらず大規模改修や、償却に応じた設備の更新などがありますので、その年度により多くの金額の違いや建設事業の経費を除いた新たな部分が生じるものと思うが、この上限額は、設計額という考え方でご理解いただきたい。少しでも減額となるように努めていきたい」との答弁がありました。
付託された議案については、全て全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。
陳情5件については、1件は継続審査とし、その他4件は、全会一致で採択す

べきものとし、意見書を提出するものと決しました。
(委員長 小笠原 寿)



建設が着実に進むクリーンリサイクルセンター

活かそう市民の声 市政を問う

◎一般質問は、「一問一答方式」と「総括質問方式」の選択制としています。

一般質問

① **大森 光信** 議員
 1 教育行政について
 2 きたあきたふるさと寄附金制度
 3 市長の政治姿勢

② **佐藤 光子** 議員
 1 少子化対策
 2 合川まど火

③ **福岡 由巳** 議員
 1 打当温泉、道の駅あに等の指定管理
 2 「学校統合再編プラン」中の「統合にあたっての整備」

④ **武田 浩人** 議員
 1 災害時の避難所の運営

⑤ **小笠原 寿** 議員
 1 公共施設財産管理
 2 観光振興

⑥ **板垣 淳** 議員
 1 学校統合
 2 ごみ処理

⑦ **吉田 仁吉郎** 議員
 1 農業振興

⑧ **久留嶋 範子** 議員
 1 木造住宅耐震改修補助事業
 2 高齢運転者の交通事故

⑨ **中嶋 洋子** 議員
 1 「森吉山県立自然公園を十和田八幡平国立公園」に編入すること
 2 鷹ノ巣駅無人化
 3 受動喫煙防止対策ガイドライン
 4 職員研修と復命書

⑩ **黒澤 芳彦** 議員
 1 森吉山県立自然公園を国定公園にするための運動
 2 養豚場の悪臭
 3 市職員の労働環境
 4 女子観光プロモーションチーム
 5 空き家対策
 6 移住定住対策

⑪ **山田 博康** 議員
 1 打当温泉の指定管理
 2 学校再編計画
 3 人口減少抑制策
 4 公共施設のトイレ改修

⑫ **三浦 倫美** 議員
 1 危険空き家解体補助制度の研究、検討を
 2 観光振興、北秋田市の特徴をアピールする工夫

◆ **一般質問とは？**
 議員が市長や教育長など市当局に対し、広く市政についての報告や説明を求めると、定例会ごとに行なわれます。

⑬ **佐藤 文信** 議員
 1 健康・福祉政策

一般質問は、12月5日・6日に行われ、13名の議員が登壇しました。
 ※掲載文は、質問者の執筆による原稿を掲載しております。



三期目出馬の意欲は



大森 光信 議員 (みらい) (一問一答方式)

議員：副読本を作成しては
教育長：必要ないと考えている

問 小中学校適正規模再編プランについて、各地説明会、パブリックコメント等、市民からの意見をどう分析しているか。
答 阿仁地区と大阿仁地区では、地域全体として統合を望まない声が多かったと捉えている。
問 プラン案の変更は考えているか。
答 保護者や地域住民の賛同が得られなければ「統合しない」といった案に変更することもある。
問 自分のふるさとを理解するためには、歴史や数字に見るデータなどが記載された副読本が必要と考える。

問 「ふるさと・キャリア教育」は、実際の体験を通して行うことが基本であり、副読本は必要ないと考えているか。
答 「ふるさと寄附金額38億円の静岡県焼津市は「過当競争の渦中」にあると思うか。
答 「過当競争の渦中」にあるかについては差し控えていた。だが、その取組みは評価できるものと考えている。
問 「1億円、1万件」と目標を明確にし、目指すべきと考える。
答 努力目標の設定は大切であると考えているが、あまり大きな目標の設定が負担とならないよう、まずは前年度の寄附金額と件数の倍増を目標にPRをしていきたい。



焼津市ふるさと納税のパンフレット

問 2期目の自己採点は何点か。
答 70から80点位。
問 マニフェスト達成に足りなかったものがあると思えば何か。
答 農林業の6次産業化、儲かる農林業の取り組みと移住定住にかかっている部分だと感じている。
問 3期目に向けての出馬の意欲は。
答 渾身の力を振り絞る3期目の市政に臨む覚悟である。

災害時の避難所運営は



武田 浩人 議員(緑風・公明)
〔一問一答方式〕

議員：運営責任予定者は
市長：あらかじめ決めておく

問 災害が発生した初期の避難所運営についてお伺いします。

答 指定避難所は市職員、避難者、施設管理者、施設職員が協働で運営することとし、避難所運営委員会を立ち上げ、課題対応や対策本部との連携など、自主的に円滑な運営を進めることとなります。

問 過去の災害では、多くの女性が大変なストレスを抱えながら避難所生活をしてきました。実際の避難所生活の中では女性への配慮について、どのような対策が行われるのかお伺いします。

答 特に高齢の方や、障害のある方、女性への配慮は欠かすことはできません。具体的には杖や車椅子利用の方には、中央通路に面した場所を用意します。また、共有空間として、授乳室、更衣室、面会室、洗濯場、物干し場、談話室などを必要に応じて増やすこととしております。

問 被災者のニーズの把握や、ボランティア等の派遣調整等をする「避難所支援班」についてお伺いします。

答 業務形態は、市民課、福祉課、高齢福祉課が担当します。活動形態は、避難所の安全確認、開設準備、避難者名簿作成、避難所運営委員会の立ち上げ等で円滑運営に努めます。

問 避難所の運営責任予定者の研修や今後の避難所運営訓練の実施についてお伺いします。

答 9月に合川地区で開催した総合防災訓練で、避難所開設訓練をメニューの一つとして行っております。今後実践的で具体的な訓練を継続しながら、避難所の運営責任予定者や、地域の方々に繰り返し経験を積んでいただくことが必要です。また、情報や研修に



避難所生活は住民主体

旧中央公民館の利用は



小笠原 寿 議員(緑風・公明)
〔一問一答方式〕

議員：商工会支所の有効活用
市長：効果的な対応をしたい

問 旧中央公民館だが、耐震診断を行うとされたが、その結果は。

答 専門機関の「一般社団法人秋田県建築士事務所協会」に耐震診断判定の依頼をしております。12月中には、診断結果が出ることになっております。今しばらく待つてほしい。

問 3階にある「職業総合研修センター」は鷹巣町時代に1階と2階部分とは別に寄附金などを含めた独自の財源を確保し、建設された経緯がある。今後、3階部分はどのようなのか。

答 耐震診断の結果、耐震補強が可能な場合は、耐震補強工事を実施して施設を活用する。現在の使用形態と変更することを考えているので、ないものと考えている。

問 北秋田市商工会が来年度中に本・支所統合を行うことにより、阿仁合駅舎と併設の阿仁支所を使用しなくなる。これを機会に商工側から支所を譲渡若しくは賃借を行い、観光関連の展示コーナーやお土産売り場、トイレ施設を充実させ観光振興に役立てるべきと思うが、市長の考えは。

答 先日行った商工会との意見交換の場においても、阿仁支所の有効活用について商工会側から提案をいただいた。「森吉山周辺の観光周遊ルート確立のために必要な改修等を行い、観光拠点として有効活用してほしい」との提案であった。議員からは4年前にもこの提案をいただいている



耐震診断結果は

学校統合を一部撤回



板垣 淳 議員 (共産党議員団)
〔一問一答方式〕

問 多くの住民、保護者が反対している大阿仁小・阿仁合小の統合計画は撤回すべきでないか。

答 凍結したい。再編プラン検討委員会にも住民からの反対意見がとて多かつたことを伝え、その意向を十分尊重するよう申し入れる。その結果、統合しないということになると思う。

問 この問題は、それだけで「万万歳」とはならないのが頭が痛いところ。教育委員会は住民や保護者に「複式ダメ、小規模校よくない」とさんざん説明してきた。つまりダメ学校のレッテルを貼った

まま存続させるということになってしまふ。教育研究者らの間では大規模校・小規模校それぞれに、いい面とデメリット両方あるというのが定説。全国的に複式や小規模を生かしたすばらしい教育を実践しているところが多いところもある。市教育委員

議員：ごみ減量さらに努力を

市長：古着回収等3R進める

問 市がごみ回収有料化を検討していた数年前、私は「有料化するな!。減量対策に取り組むべき」と質問し、市はその通りにした。そのことを評価し敬意を申し上げるが、古着古布の無料回収など、3R(減量・再利用・再資源化)はもつとできることもあるのではないか。

答 古着古布の回収は3Rの有効な手段なので実施を検討したい。また、市環境基本計画



建設中のクリーンリサイクルセンター
エネルギー回収推進施設

員会も、それぞれの学校規模のもとでよりよい教育をどう作り上げていくか、地域住民や保護者らと引き続きよく議論していくべきではないか。教育長の所見を。

答 全くその通りなので、そういう考えで進めていく。

を策定し、物を大事にする、資源を大切に使うといった循環型社会をめざしたい。

法人組織化を強化せよ



吉田 仁吉郎 議員 (清和会)
〔総括質問方式〕

族中心で農家個々によって支えられてきたが近年社会状況の変化によって高齢化、後継者不足がきたし、これまでの農業形態では行えない状況にあります。そこで、地域農業を維持発展させていくため生まれたのが集落営農であり法人化であります。そこで本市に於ける組織の現状と取り組みについて。

問 これまで農業は家族中心で農家個々によって支えられてきたが近年社会状況の変化によって高齢化、後継者不足がきたし、これまでの農業形態では行えない状況にあります。そこで、地域農業を維持発展させていくため生まれたのが集落営農であり法人化であります。そこで本市に於ける組織の現状と取り組みについて。

答 集落営農組織は平成19年度スタートした国の品目横断的経営安定対策のメリットを享受できるように20ヘクタール以上の経営面積と売り上げや経費の一元管理を目的としてお

問 新しく出てきた中間管理機構を活用した法人の支援でございませう。この制度を利用した場合、これまでの農業者の機械などは全て処分しなければならぬとされております。つまりゼロからのスタートとなります。そのため一気に設備等を導入する場合に多額の資金が必要であります。一部土地の集積金があります。法人は多額の借入をしなければならなくなりませう。国や県の支援はあるが市の独自の支援があるべきと思っております。

答 当市におきましては国の多面的機能交付



北鷹ファームのミニライフセンター

されることから国や県による法人向けの各種事業を関係機関と連携しながらPRするとともに法人設立に向けた支援を行っていきたい。

議員：思い切った支援が必要

市長：国事業に独自支援を検討

金をそれぞれの地域に活用していただきながら地域農地を保全管理すべきと考え、耕作放棄地解消のためのメニユーや水稲の大型機械取得のためのメニユー等県と県の事業を活用しながら市独自のかさ上げを実現したい。

木造住宅の耐震化を



久留嶋 範子 議員(共産党議員団)
〔一問一答方式〕

とも防災意識向上につ
ながると考えている。
補助制度の周知を図り

ながら耐震化に関する
意識啓発を図っていき
たい。

議員：高年齢者の交通事故対策

市長：安全運転の意識向上を図る

問 高齢ドライバーに
よる死亡事故が相次い
でいる。市としても、
何らかの対策が必要で
はないか。

答 広報や街頭キャン
ペーンなどによる啓発
や、警察署による高齢
運転者を対象とした安
全講習などが行われて
いる。今後も地域の交
通安全団体や自治会等
を通して、安全運転へ
の意識向上を図ってい
きたい。

問 運転免許の自主返
納への呼びかけと、そ
れに替わる交通手段を
どう考えていくか。

答 公共交通機関の空
白域が多い当市におい
ては、運転免許の返納
をためらう理由として
「買い物や通院などの
交通手段に車以外の手

段がない」ということ
もあるため、自主返納
への呼びかけを進める
一方で、返納後のサポ
ートが大きな課題であ
ると認識している。代
替タクシーや市街地循
環バスなどの利用を踏
まえながら、地域や業
者の協力のもと、持続
可能な公共交通網の構
築に取り組んでいきた
い。



危険な鷹巣IC出入口

受動喫煙防止策を



中嶋 洋子 議員(みらい)
〔一問一答方式〕

園を目指す動きもあり
注視してきた。国立公
園や国定公園の指定を
受けるには、地元の皆
様のご理解と合意形成

が何より重要である。
必要に応じて市民の理
解を深めるための勉強
会の開催など検討して
いきたい。

議員：「鷹ノ巣駅」不便！取り組み

市長：延長と解放JRと協議

問 27年12月、鷹ノ巣
駅の待合室が閉鎖され
利用できず困っている。
これが無人化につなが
るのはと質問。前向
きな答弁頂けず。その
後団体に参加しアンケ
ート調査を実施し市民
の声をJRに届けるも

「個別の団体とは原則
懇談はせず、市町村を
窓口で協議している」
とのことでした。今後
の市の取り組みと対策
は。

答 10月にJR東日本
秋田支社に対して、営
業時間の延長と待合室
の開放の要望を伝えた
実現できるようJRと
の話し合いを進めてい
く。民間団体とは連絡

をとりながら支援、夕
イアップを検討したい。
問 市民との交渉事項
について話し合った結
果の復命書が、どのよ
うに上司に報告されて
いるか、市民に分から
ないのが不安である。
署名、捺印が必要では
ないか。

答 積極的に検討させ
て頂きたいと思いま
す。



禁煙が求められる市庁舎

森吉山を国定公園へ



黒澤 芳彦 議員 (みらい)
〔一問一答方式〕

議員：悪臭問題を解決せよ

市長：対応策を文書で提出

問 会社から文書で対応策を出したと伺っていますが、その内容と時期は。

答 悪臭をいいにおいて変える薬剤があるという記載があり、現在使用方法の検討をしているとの内容です。

問 日常的に悪臭にさらされている地域住民にとつては重要な問題であり、その薬剤はいつ使用されるのか。

答 使用方法や時期は、承知しておりませんが、報告を含め状況を見守りながら、勉強や研究をしていきます。

問 全庁的に片寄った残業や月80時間（過労死の基準）以上の残業する職員がいる市の労働環境に対する認識と対応について。

答 ノー残業デーを毎週水曜日と金曜日に設けているが、時間外勤



雄大な森吉山樹氷群

務の削減につながっておらず、全庁的な取り組みが必要であり、適正な人員の配置、事務の効率化を図り行政コストの削減に努めます。

問 山梨市で行われている女子観光プロモーションチームの制度を採用しては如何か。

答 当市においても職員提案制度があり所属部署や年齢層の異なる職員間の意見を市政に反映させる制度を検討。

何故公募しないのか



山田 博康 議員 (清和会)
〔一問一答方式〕

市長：必要に応じて整備する

議員：公共施設のトイレ改修

答 4月からの収支状況がおおむね計画通りに進んでおり、現行のまま継続させることにした。6千万円の借入金

金の市の債務補償については経営の劇的改善が望めない状況で、市として損失補償の側面支援が必要と判断した。

問 高齢化が加速度的に進む本市にあつて高齢者に優しい施策として公共施設への洋式便座の設置を計画的に促進するべきと考えるがその対応について。

答 未設置あるいは設置されていない不十分な施設があると認識しています。公民館等地域に密着した施設は創意工夫をしながら計画的に改修を検討してまいります。

問 小中学校の学校再編プランについて、関係地区での説明会に際し強い反対意見が出された地域への対応は、どうされるのか。

答 旧阿仁町から学校を無くすという今回の



阿仁地区学校再編プランは時間をかけ協議を(阿仁合小学校)

危険空き家解体補助を



三浦 倫美 議員 (共産党議員団) [一問一答方式]

例があります。行政処分として指導や勧告等の措置は、特定空き家

等の認定を受けた空き家等に実施するべきと想定しております。

議員：観光アピールの工夫を 市長：地域連携で魅力発信

問 危険空き家の実態調査と、解体補助制度の検討を。

答 空き家の所有者に聞き取り調査を実施した上で、補助制度の検討をします。適切な管理を行ってきたか等、公平性を担保できる制度が必要であると考えております。

問 危険空き家により近隣住民が安全面で困っている場合、どう対応したらよいか。

答 住民からの苦情や要望があった空き家の所有者や管理者を確認し、適切な管理を依頼しており、解体や危険箇所の修繕を所有者、親類縁者、自治会等に対応していただいた事

問 産業建設常任委員会の所管事務調査、東京都あきる野市や山梨市での研修を参考に、観光資源の磨き上げやアピールの工夫を。

答 地域の特徴や資源活用の成功例として参考にいたします。当市では森吉山を自然観光の核とし、県と共同の丸ごと森吉山観光振興プロジェクトに取り組み、ブランド化に向けて「ハハハ」ロゴ等イメージ商品開発や情報発信を実施しています。今年度は、日本三大樹水ブランド化誘客推進事業や、地域連携DMO秋田犬ツーリズムへの参画により、インバウンド誘客を推進しながら魅力発信に努めま

す。大館能代空港へのチャーター機乗り入れ高速交通体系確立のメリットを最大限活用し伊勢堂岱遺跡や大太鼓の館などの文化施設、体験型メニュー発掘等、滞留型観光誘客促進を図ります。森吉山の安全面も、関係団体と対処方法を協議し、対応に努めております。

等々の認定を受けた空き家等に実施するべきと想定しております。



日本三大樹氷 森吉山

特定健診をコンビニで



佐藤 文信 議員 (新創会) [一問一答方式]

支援事業の認知症施策で認知症ケアパスを作成し、体制整備を進めています。早期受診の動機づけの有効手段の一つとして検討します。平成27年度のがんドッグは前年対比93・

6%、受診率向上に向けて補助金の拡大すべきと思いますがその考えは。
答 助成額の拡大につきましては、受診しやすい環境づくりにつなげるため検討します。

議員：家庭に血圧測定器を 市長：普及啓発に努めたい

問 特定健診は生活習慣の改善を促すことを目的に実施しています。が、受診率と指導率は、また、コンビニでの受診実施について伺います。

答 受診率は26・1%、指導率は55・4%。受診率向上に向けてコンビニでの実施を検討します。

問 当市でも5人に1人が認知症と思われる。早期発見、診断を推進する、もの忘れ検診を医療機関で実施していただきが導入の考えは。

答 市のホームページで認知症簡易チェックシステムを実施。平成29年度から始まる地域

問 高血圧は自覚症がないまま進行し、心筋梗塞や脳卒中を引き起こす可能性が高いことからサイレントキラーとも呼ばれています。家庭に血圧測定器を設置する考えは。

答 主治医の勧めにより、血圧計を購入する方が増えています。循環器、脳血管の専門の医師が少ない当市の医療圏においては、自身自身の血圧を測定することは非常に意味があります。身近な健康管理器具として普及啓発に努めたいと思えます。

問 けんこう北秋田21計画では、健康寿命をいかに延ばすのが重要と思えますが取り組みは。

答 健康寿命を延ばしながら、市民生活の質を高め、心豊かに暮らす計画を考えています。



生活習慣の再考を

所管事務調査報告

茅ヶ崎市・焼津市を行政視察

総務文教常任委員会所管事務調査

総務文教常任委員会では、10月31日、11月1日に、茅ヶ崎市防災行政、焼津市ふるさと納税について所管事務調査を実施しました。

防災情報の難聴地域対策に

防災ラジオを利用

茅ヶ崎市は、119箇所の屋外拡声支局（防災行政用無線）を持ち、市民に防災情報を伝達、その難聴地域対策として新たに防災ラジオを民間企業と共同開発し、希望者に有償で配布している。

防災ラジオは、地域も狭いことから、地域毎のグループ分けは行わず、内容を災害情報等に限定し、全市民に平等に発信している。

当市でも、防災ラジオの導入が検討されているが、広範な市域のため茅ヶ崎と違った地域実情はあるものの、災害時などでは大事な情報伝達の一つであると感じた。

ふるさと納税で

街全体に活気

全国屈指の水産都市焼津市では、今年度機構改革を行い、新たに水産部を設け、部内にふるさと納税

課を新設、正規職員6名を含む19名体制としている。

ふるさと納税に対する協力企業は約150社、お礼の品目数が1150品ほどで、今もなお増加している。

平成26年度は、寄付が8千件、2億8千4百万円であったが、27年度には、13万9千件、38億2千8百万円と急増、営業形態をふるさと納税用に大きくシフトし雇用を増やす企業も出るなど、街全体が活気づいている。また、定住、人口増加に繋げるきっかけとして、焼津市に直接足を運んでもらうように、宿泊券や釣り用の貸切り船などのお礼品も用意されている。



所管事務調査の様子
(神奈川県茅ヶ崎市)

所管事務調査報告

三島市・富士市を行政視察

市民福祉常任委員会所管事務調査

市民福祉常任委員会は「健康寿命延伸施策」をテーマとし、常に全国トップレベルを維持する静岡県にある三島市と富士市を選定し、11月8日、9日に所管事務調査を実施しました。

産・官・学・民

協働連携で健康づくり増進

三島市では「健康都市宣言」で生活習慣予防をはじめとする疾病対策、市民が主体的に取り組む健康づくりや、地域・グループで支え合う健康づくりへの支援に努め、また「食育推進都市宣言」で、

市民が自らの食を考え、食に対する知識や選ぶ力を身に付けられるなど「産・官・学・民」の協働により「スマートウェルネスシティ構想」を実施し、従来の保健・医療分野だけに留まらず幅広い視点で「健康」都市づくりに積極的に取り組んでいるのが特徴的でした。

社会参加や検診受診で

ポイントが貯まる

また、富士市では「健康ふじ21計画」を策定し「みんな健康でい

きいきと暮らせる富士市」をスロ

ーガンに掲げ「壮年期の死亡減少」「健康寿命の延伸・生活の質の向上」を基本理念に、様々な健康づくり対策に取り組みされており、なかでも「ふじさん青春マイレージ」事業は、市民の健康づくりや積極的な社会参加を促すことで、青春度（健康度）の向上を図ることとし、運動や食事などの健康づくりの為の行動と社会参加や検診受診などをするとポイントが貯まり、規定に達すると協力店でサービスを受けられたり、抽選で粗品の贈呈を行っていました。

両市の施策を参考に、今後の北秋田市の健康寿命延伸施策に活用することが出来ればと思います。



所管事務調査の様子
(静岡県富士市)

所管事務
調査報告

あきる野市・山梨市を行政視察

産業建設常任委員会所管事務調査

産業建設常任委員会では、11月15日、16日に、東京都あきる野市、山梨県山梨市を訪問し観光産業と観光振興について所管事務調査を実施しました。

あきる野
ふるさとプランを策定

あきる野市は、平成32年度まで「あきる野ふるさとプラン」後期行動計画として主要な施策を定めている。

東京都の中にあっても豊かな自然に抱かれた山地・里山環境であり、地域資源を生かした「秋川溪谷ブランド化」に向けて取り組んでいる。商品や地域のイメージアップ・キャンペーンといった取り組みだけでは、効果が短期的であり、中長期的に生活者や観光客の心の中にあきる野市の魅力を築くことが重要であるとしている。

当市でも、持続的な観光産業の振興と地域への愛着や定住化を図るためには、他の地域と明確に区別されるか、そのためにはやはり「地域ブランドの構築」が重要であると感じた。

女子職員のみで構成
観光プロモーションチーム

山梨市の女子職員のみ16名で構成する「女子観光プロモーションチーム」は、観光客の増加につなげるためには「女性の視点も重要」と考え、通常業務の傍ら、観光振興と地域活性化に結び付くような企画を提案している。市からの財政的な支援はなく、助成金や補助金を活用。活動に協力してくれる団体を探するなど展開している。発足5カ月後にはチームが企画した「ジャム」を販売し発売3カ月で1000本を売り上げている。「私にできる・私が考える観光振興」をテーマに市を何とかしようというメンバーの取り組み姿勢など大変参考となった。



所管事務調査の様子
(東京都あきる野市)

第3回臨時会

第3回臨時会が11月14日に、本庁舎議事堂で開かれ「財産の取得について（住民情報系・内部情報系システム機器）」1件が上程され原案のとおり可決されました。財産の取得については、住民情報系・内部情報系システム機器を随意契約し、契約金額5961千6千円で、サーバー18台、納付書読取装置1台を、株式会社アイシーエス秋田支店から買入れをするものです。

議会全員協議会

第3回議会全員協議会が11月14日に、本庁舎大会議室で開かれ、提案された3件を協議しました。

マタギの里観光開発株式会社は、経営状況及び今後の方針については、当局から「現在、経営改善計画中であり2016年9月中間決算状況では、おおむね計画通り達成していることから非公募によりマタギの里観光開発株式会社へ引き続き指定したいと考えている」との説明がありました。

し尿処理施設整備計画については、当局から「新たな施設は、建設費・維持管理費等が安価となり、

運営の効率化を図ることができ下水道投入施設として、鷹巣浄化センターの隣接地に建設を予定している」との説明がありました。

クリーンリサイクルセンターエネルギー回収推進施設等長期包括的運転維持管理業務委託については、当局から「現在建設を進めており、市が管理しているリサイクル施設及び一般廃棄物最終処分場について、効率的な維持管理や経費の削減に向けて、運転維持管理に係る業務を包括的に民間に委託するものである」と説明がありました。

議会映像配信
特別委員会設置

今定例会では、議会改革推進に向け、議会映像配信について調査研究するため、議員発議の「議会映像配信特別委員会設置に関する決議について」が提出され全会一致で可決されました。

委員は次のとおりです。

- ▽委員長 武田 浩人
- ▽副委員長 大森 光信
- ▽委員 三浦 倫美
- 佐藤 光子
- 佐藤 文信
- 吉田 仁吉郎

市議会議員研修



秋田県市議会議員研修会

秋田県市議会議員研修会が、11月11日に秋田キヤッスルホテルにおいて開催されました。

研修会では、にかほ市出身で秋田の「超神ネイガー」をはじめローカルヒーローの企画や製作に数多く携わり、その第一人者として現在も数々のヒーローを生み出している海老名保氏を講師として「秋田から世界に発信！正義の味方の挑戦」をテーマに、そのためには「心・技・体」のバランスがとて大切であるということや「地域から日本を変えて行こう」という内容など大変貴重な研修となりました。

林活議連研修



搬入された木質チップを乾燥

北秋田市・森林・林業・林産業活性化議員連盟の研修会が、11月11日に行なわれ、今年7月に開業したユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社の木質バイオマス発電所を視察しました。

この発電所の出力は東北最大級で、主燃料となる木質チップは、県内全域から供給されています。県内の林業者と提携することで、未利用材の新たな需要先として県内林業の活性化の一端を担うとともに、バイオマスによる再生可能エネルギーを実現するものです。今回の研修では林業の活性化に向けた取り組みを把握することができました。

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書を求める陳情	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 渋谷 一	採択	提出
地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める意見書を求める陳情書	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 渋谷 一	採択	提出
「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める国への意見書の提出の陳情	秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳 秋田県保険医協会 会長 草薨 芳明	採択	提出
介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める国への意見書提出の陳情	秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳	採択	提出
若い人も高齢者も安心できる年金制度改善と年金積立金の株式運用の見直しを求める国への意見書提出の陳情	秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳 全日本年金者組合秋田県本部 執行委員長 渡部 雅子	継続審査	
「北秋田市小中学校適正規模再編プラン(案)」における阿仁・森吉地区3小学校統合案再考に関する陳情書について	北秋田市阿仁銀山字下新町60 左京 奈緒美	一部採択	

『表紙写真の募集について』

【募集内容】

北秋田市内で撮影した四季折々の行事や風景など「市議会だよりきたあきた」の表紙にふさわしい写真で、次のいずれにも当てはまるものを募集します。

- ①応募者本人が北秋田市において、おおむね1年以内に撮影したもの。(縦型)
- ②未発表のもの。
- ③2~4MBのデジタルデータ(JPG形式)で提供できるもの。

- ④人物が特定できる場合は、被写体の承諾を受けたもの。
- ⑤個人の所有物を被写体とした場合は、所有物の承諾を受けたもの。

【応募方法】

応募用紙と応募写真をEメールに添付して御応募ください。詳細については、市ホームページ内の北秋田市議会「市議会だより」に掲載しております。

応募先メールアドレス

【gikai@city.kitaakita.akita.jp】

【応募期間】

年間を通して随時応募を受け付けますが、季節・時期等を感じる作品については、発行日の1カ月前までお願いします。

【発行日】

5月1日・8月1日
12月1日・2月1日



『市民の声』

北秋田市老人クラブ連合会

森吉支部 支部長

佐藤 篤市さん（米内沢）

循環バス 実証運行に思う

毎日高齢者が交通事故に係る二ユーが後を絶ちません。その対策の一つとして高齢者の免許返納が言われていますが、公共交通が減少し、しかもバス停まで歩いて二十分以上の集落が半数以上に分散しています。病院や買物に月一から二回は出かけたが大変です。市が実証運行した循環バスは公共バス地域内ではなく、一般に言う農村部への要望が求められているのではないのでしょうか。実現すれば交通事故は減少し、生活支援も進み、安全安心が生まれるのではないのでしょうか。

遠出の足のない生活はタクシー割引があると言っても年金暮らしでは足になりません。農村を区割りし、足を確保する手立てを考え実践して下さる事を願っています。

津谷 憲生さん（坊沢）

議員の 対応に期待

市議会だより（50号）を見て読んでよいと思つたのは最終紙面（ページ）の市民の声です。市民の身近な気持ちや問題が個々にどしどし出てきて議員の問題対応にプラスになればと考えます。少子高齢化は、今どこにでもある現状ですが、北秋田市においても大きな課題となっているのは事実だと思います。これから益々大変さが加速すると予想しますが、行政と市民が一体となって明るい方向の一つ一つ進めるように議員の皆さんにも期待するところです。



皆様の「声」を 募集します！

※市議会では、市民の皆様は議会への関心と、より身近で親しみをもっていただくような議会報の取り組みとして、「市民の声」を掲載しております。

また、開かれた議会を目指しておりますことから、皆様には議会の傍聴を議員一同、心よりお待ち申し上げます。

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦の推薦について

◎人権擁護委員候補者の推薦

宮野 恵子（再任）

綴子字街道下

長岐 直介（再任）

七日市山ノ上

あとがき

穏やかな天候に恵まれ、新しい年が明けました。皆様におかれましては、今年一年どのような年になるのでしょうか。

昨年を振り返りますと国内外激動の年でありました。市民のくらし、景気回復の兆しは、厳しいものがあります。

さて、12月議会も12月1日から13日までの会期で開かれ、一般質問も13名という最多の議員が活発な意見を交わしました。また、傍聴者も多く、学校統合問題、マタギの里観光開発（株）に関する指定管理の指定についてなど市民の関心の高さが伺われました。

市議会では、インターネットによる議会中継の導入について、今年度本格的に実現に向け調査を開始することになりました。インターネット中継は、開かれた議会、情報公開の観点から、全国的に導入が進んでいるものです。今年も市民にわかりやすい「議会だより」作りのために努力していく所存であります。本年もよろしくお願い致します。

（久留嶋 範子）

次の定例会と各常任委員会は「3月」です市民の皆さまの傍聴をお待ちしています

- 各常任委員会の会場
- 総務文教（本庁舎）
- 市民福祉（本庁舎）
- 産業建設（本庁舎）

広報公聴特別委員会

- 委員長 福岡 由巳
- 副委員長 久留嶋 範子
- 委員 長崎 克彦
- 吉田仁吉郎
- 武田 浩人
- 三浦 倫美